

テーマ：自然（春）

5歳児クラス 16名 90分

活動 弁天池散策

普段見ることの出来ない竹林の中で春の自然を感じ、様々な発見や気づきを通して興味関心を深める。

準備したもの 絵本、図鑑、画用紙、虫眼鏡、ブッカー等

○活動内容 狛江市で開放される弁天池で春の自然散策の機会を利用し普段見ることのできない竹林の中で春の自然を感じる。

○保育者の問いかけやアプローチ

散歩に出かける前に「葉っぱきらきら」と「雑草の花図鑑」という本を紹介。「タケノコが沢山生えているらしいけど見たことある？」と問いかけをした。

○子どもの様子

タケノコが皮をかぶった状態で伸びているのをみつけ大興奮。タケノコが伸び皮がとれ、竹になるということに気づいた子がいた。

タケノコの根本に赤いプツプツがある、先っぽは緑色。新鮮なタケノコだからこそその気づきがあり、絵にして表現する姿があった。

散歩の道中で雑草や葉っぱを沢山集めて帰ってきた。お日様にかざしてみると、いつもみている葉っぱも違って見えることに気づいた。

虫眼鏡でタンポポを見て「くるくるしたのがあった！」と図鑑に載っていたことが同じと確かめていた。

また、採取した草花を用意しておいたブッカーを使い、葉を作っている姿があった。



振り返り

活動の様子をドキュメンテーションで知らせたこともあり、翌日の登園時に親子で木の葉を透かして葉脈を

見ながら来たと保護者から報告があった。このことがきっかけとなり、保護者も子どもと一緒に自然観察をするということに興味を持ったようだ。保育者の気づきとして、本や図鑑からの知識を実際に確かめることが感動を深め学びに繋がった。